



学習指導案

松田 基章

時間ごとの指導案

単元指導計画 10 時間 (グループ活動を含めて 2 時間単位)
校内ネットワークとインターネットの活用 (1)ネットワーク利用とコミュニケーション (使い方の指導) 2 時間 (2)読書資料活用と検索の仕方および読書支援システムの利用 2 時間 本時 (3)インターネットを利用したDBの活用と情報検索 2 時間 (4)IDパスワードの管理とセキュリティ 2 時間 (5)ネットワーク利用のまとめ 2 時間
本時の目標と展開 (本時はその 2 時間) (1)楽しんで、自力でキー入力ならびに文字変換の定着を図る。 (2)図書館読書資料等の利用方法を知り 取り出し・活用方法を知る。 (3)読書支援システムを通じて墨字分を音声で読む方法を知る。
単元の目標 視覚者の立場での情報ネットワークの利活用を想定し、情報のデジタル化や情報通信ネットワークの特性を利用しながら、ネットワークが機能する仕組みとそのために必要な要素について学ぶ。情報の社会に及ぼす影響やネットワークに参加する上での、利用上のマナー (個人情報 (パスワード等)の管理の重要性について認識させる。

学習活動	機器教材教具	指導上の留意点
導入 (20分) キーボード練習 メールチェック 課題説明 校内 Web図書館のメニューによる図書検索 および操作法の説明 	うちこみクン MMmail&校内ネットワークの利用	基本的な概念の理解に重点置く。 キー操作については、毎回のキー練習ソフトウェアで定着を図る。(6点点字入力・ローマ字・かな入力にはこだわらない。) メールは、今までの積み上げで、相手先や交流校によって生徒各自に任せている。 (まとめて最後に報告)
展開 70分 休憩をはさむ校内 Web図書館の検索体験 (20 分) 読書支援システム「よみとも」の体験 (20 分) インターネット検索 (25 分)	図書検索 よみともの体験 (スキャナ) 音声図書館 青空文庫 盲点字ネットワーク	盲点字情報ネットワークの入り方・検索の仕方の説明 校内リンク集を利用入力を省く
まとめ 15分 作業内容の途中までの発表 (15分) 考察の報告・電子メールによりまとめ	MMmail	情報収集 (ID・パスワードの扱いについての注意させる。)次回の情報通信ネットワークとセキュリティについての予告